

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成  
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		永熊本線改良事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全序横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	人々が、安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	上原 哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	石原 光朗
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	工務班	(内線)	2274
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠		
		1	8	2	3	10083		成果優先度評価結果	3
								コスト削減優先度評価結果	8
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了	<input type="checkbox"/> 22年度から開始	事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		
						<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	( 19 ~ 24 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	国道387号へ続く市道永熊本線L=730m(東西路線360m、南北路線370m)の改良及び歩道設置を行う事業である。地元要望等により必要性を検討した結果、平成6年度から事業開始となった。事業開始時期は舗装の痛みも著しく、歩道も無かったため、車両の通行及び歩行者の通行に支障をきたしていた。今後は交通量に応じた幅員構成によりスムーズな通行が出来る整備が必要とされる。(平成22年度以降は事務事業統合により市道改良事業に登録する。)
【業務の流れ】	平成19年度 測量設計業務委託 平成20年度 用地交渉 平成21年度～平成22年度 用地買収 平成23年度～24年度工事
【主な予算費目】	委託費(測量設計、鑑定業務等)・公有財産購入費・補償費・工事費
【意見や要望】	地域住民及び道路利用者から道路拡幅の要望がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
(① 手段(主な活動)) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO) (平成20年度予算(用地費)の一部繰越分と現年予算分で用地買収及び補償	用地補償
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア ④道路改良延長	(単位) m ⇒イ ④用地買収面積 m
②対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 永熊本線道路	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ア ⑤全改良延長 m ⇒イ ⑤
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全・快適に通行できるようにする	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ア ⑥整備率 %

\*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠  
整備率により事業の進捗状況がわかるため。

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	総トータルコスト 全体計画 19 ~ 24 年度 (期間限定複数年度のみ記載)
④ 活動指標	ア m イ m <sup>2</sup>	0 0	0 0	0 1400	0 668				
⑤ 対象指標	ア m イ m <sup>2</sup>	730 730	730 730	730 730	730 730				
⑥ 成果指標	ア % イ	0 10	50 40						
事業費	国庫支出金 財源内訳 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源 (A) 事業費計 (A)のうち指定経費 (A)のうち時間外、特勤 人件費	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 人							
	延べ業務時間 (B)人件費計 トータルコスト(A)+(B)	時間 千円 千円	320 1,270 9,516	648 2,592 3,427	784 3,120 17,624	675 2,687 11,215	0 0 0	0 0 0	

事務事業名	永熊本線改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部(SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価  事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は?	<input type="checkbox"/> 達成した  用地交渉の困難、関係機関の払下げ事務の長期化	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 
	②22年度目標達成見込み  事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】  <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】   未買収の地権者は残り3名のみ。	
有効性評価	③成果の向上余地  次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか?成果が頭打ちになってないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】  <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】   成果は事業が完成しないと発揮できない。 計画したとおりに進んでいるが、関係機関との協議が長期化したところがある。	
	④類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】   市道改良においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 
効率性評価	⑤事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】  <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】   用地買収及び工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト縮減に努め経済比較を行なながら単価等の決定を行っているので余地はない。	
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできなのか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】  <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】   本事業を完成させるためには、用地買収等の重要な事業が残っている。また、用地を取得するためには正職員以外の職員は担当できない。	
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】  <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】   地域はもとより市民の通行利用もあることから、公正であると判断できる。	
	⑧行政の役割分担の適正化  事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】  <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】   市道は市の管理物件であり、これの改良には測量設計、用地買収、工事等、全て市の責任で行う必要がある。	

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・用地交渉の困難、関係機関の払下げ事務の長期化により、目標とした成果指標を達成できなかった。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

### (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)  
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)  
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成果	向上	コスト		
		削減	維持	増加
成績	○			
維持				
低下				

### (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策